

1.	②	11.	②	21.	①	31.	④	41.	④
2.	①	12.	②	22.	①	32.	②	42.	④
3.	③	13.	④	23.	④	33.	④	43.	④
4.	②	14.	②	24.	②	34.	③	44.	①
5.	④	15.	②	25.	③	35.	①	45.	②
6.	②	16.	①	26.	④	36.	②	46.	②
7.	③	17.	①	27.	④	37.	②	47.	②
8.	③	18.	③	28.	③	38.	①	48.	④
9.	③	19.	④	29.	①	39.	①	49.	②
10.	①	20.	①	30.	③	40.	③	50.	①

1.

解答 ②

【解説】

正解は②の **leader** で、「指導者、リーダー」を意味します。他の選択肢を見てみましょう。①**member** は「一員、メンバー」、③**partner** は「相棒、パートナー」、④**master** は「主人」や「名人、達人」といった意味で、集団を率いる立場とは異なります。

◆補足：**leader** という単語は、動詞の **lead** (～を率いる、導く) に、「～する人」を意味する **-er** が付いてできています。このように、動詞と関連付けて単語を覚えると、語彙を効率的に増やすことができます。

2.

解答 ①

【解説】

正解は①「**mile**」です。**mile** は距離を測る単位で、1,760 ヤードまたは約 1.6 キロメートルに相当します。アメリカやイギリスで一般的に使われています。例えば、「**The next town is ten miles away.**」(次の町は 10 マイル先です)。②は郵便、③は食事、④は男性です。

◆補足：他のほとんどの国では、距離を測る標準単位は **kilometer** です。

3.

解答 ③

【解説】

正解は③「island」です。例えば、「Japan is an island country.」（日本は島国です）。①Iceland は国名です。②inland は内陸のという意味の形容詞です。④は単一の単語ではありません。

◆補足：island の重要な点は、's'を発音しないということです。「アイランド」と発音されます。

4.

解答 ②

【解説】

正解は②の speech で、「演説、スピーチ」を意味します。他の選択肢を見てみましょう。①story は「物語、話」、③topic は「話題、主題」、④report は「報告、レポート」という意味で、人前で話す「演説」とはニュアンスが異なります。

◆補足：スピーチを「する」と言いたい時は、make a speech や give a speech という表現を使います。The president will give a speech tomorrow.（大統領は明日、演説をします）のように使えます。動詞の speak（話す）と名詞の speech（スピーチ）の形の違いにも注意しましょう。

5.

解答 ④

【解説】

正解は④の centimeter で、「センチメートル」という長さを表す単位です。日本語の発音とほぼ同じで、記号では cm と書かれます。他の選択肢は、①gram は「グラム（重さ）」、②kilogram は「キログラム（重さ）」、③milliliter は「ミリリットル（体積・量）」を測るための単位です。何を測る単位なのかをしっかりと区別して覚えましょう。

◆補足：長さの単位には、centimeter の他にも mm でおなじみの millimeter（ミリメートル）、m の meter（メートル）、km の kilometer（キロメートル）などがあります。centi-という部分は「100分の1」を意味するため、1meter は 100centimeters になります。

6.

解答 ②

【解説】

正解は②「こちらへ、このように」です。this way は、聞き手の近くの方を指して「こちらへ」と案内したり、やり方を示して「このように」と説明したりする時に使う便利な表現です。店員がお客さんを案内する際に This way, please.（こちらへどうぞ）と言うのが典型的な例です。①「あちらへ」は that way、③「毎日」は every day、④「ところで」は話題を変える時に使う by the way が適切な表現です。

◆補足：this way が方法を示す例としては、If you do it this way, it will be easier.（もしこのようにやれば、もっと簡単になりますよ）のように使います。方向を指す場合も方法を指す場合も、話し手にとって身近なものを指すのがポイントです。

7.

解答 ③

【解説】

正解は③「ride」です。「I learned how to ride a bike when I was five.」（私は5歳の時に自転車の乗り方を学びました）。①「drive」は車用、②「get on」はバスや電車のような大きな公共交通機関用です。④「lead」は案内するを意味します。

◆補足：過去形は rode、過去分詞形は ridden です。名詞の ride は、自転車や馬などでの旅、または遊園地の乗り物を意味することがあります。

8.

解答 ③

【解説】

正解は③「～を支配する、管理する、制御する」です。control は、機械を「操作・制御する」、会社や国などを「支配・管理する」、自分の感情を「抑える」など、幅広い対象を自分の思い通りに動かすことを意味します。A pilot controls an airplane.（パイロットは飛行機を操縦する）のように使います。

①は create、②は compare、④は collect が適切な単語です。

◆補足：control は名詞としても使われ、「制御、支配」という意味になります。テレビやエアコンの「リモコン」は remote controller や remote control と言いますが、これは remote（遠隔の）場所から control（制御）するもの、という意味から来ています。

9.

解答 ③

【解説】

正解は③「beginner」です。動詞の begin（始める）から来ています。例えば、「This class is for beginners.」（このクラスは初心者向けです）。①「winner」は勝者、②「dinner」は夕食、④「finger」は指です。

◆補足：初心者向けのコースやクラスは、しばしば beginner's course と呼ばれます。

10.

解答 ①

【解説】

正解は①「旅行に行く」です。trip が「旅行」を意味し、go on 〜で「〜をしに出かける」というニュアンスになります。例えば They will go on a trip to Kyoto next week. (彼らは来週、京都へ旅行に行きます) のように使います。②は go for a walk、③は go shopping、④は go fishing がそれぞれ一般的な表現です。

◆補足：trip を使った表現には、school trip (修学旅行) や business trip (出張) などがあります。go on a 〜の形は他にも go on a picnic (ピクニックに行く) や go on a date (デートに行く) のように、様々な活動に使うことができる便利な型です。

11.

解答 ②

【解説】

正解は②の grow で、「育つ、成長する」という意味の動詞です。他の選択肢を見てみましょう。

①plant は「(植物) を植える」という行為、③rise は「(太陽などが) 昇る、上がる」、④raise は「〜を育てる、〜を上げる」という意味です。raise は人が子どもや動物を養い育てるニュアンスが強いのが特徴です。

◆補足：grow は「(植物など) を栽培する」という意味でも使われます。例えば My family grows rice. (私の家族は米を育てています) のように使います。grow の活用は grow - grew - grown と不規則に変化するので、形が変わっても意味が分かるようにしておきましょう。

12.

解答 ②

【解説】

正解は②「素晴らしい、非常に優れた」で、形容詞です。非常に強い賞賛の言葉です。例えば、「You did an excellent job!」(素晴らしい仕事ぶりでしたね！)。①は exciting、③は expensive、④は名詞の exit です。

◆補足：excellent は good や great よりも強いです。非常に感銘を受けたときに使えます。

13.

解答 ④

【解説】

正解は④の million で、「100 万」(1,000,000) を意味する数字の単位です。英語で大きな数を表現する際に基本となる言葉の一つです。他の選択肢を見てみましょう。①hundred は「100」、②thousand は「1,000」、③billion は「10 億」を指します。これらの単位は正確に覚えておきましょう。

◆補足：a million（100 万）、two million（200 万）のように、具体的な数字と使う場合は複数形の-s は付きません。しかし、millions of stars（何百万もの星）のように、漠然と「たくさん」と言いたい場合には millions of ～という形を使います。

14.

解答 ②

【解説】

正解は②「(速度が) 速い」です。Shinkansen is a very fast train.（新幹線はとても速い電車です）のように使います。日本語では同じ「はやい」ですが、④「(時間が) 早い」は early（例: early morning 早朝）を使います。①「最初の」は first、③「固い」は hard という単語が適切です。

◆補足：fast は「速く」という意味の副詞としても使うことができ、形容詞と副詞で形が変わりません。例えば She can swim very fast.（彼女はとても速く泳げます）のように、動詞を修飾します。slow が slowly になるのとは違い、fastly という単語はないので注意しましょう。

15.

解答 ②

【解説】

正解は②「運動選手、アスリート」です。例えば、「He is a top athlete in Japan.」（彼は日本のトップアスリートです）。①は artist、③は architect、④は assistant です。

◆補足：体の動きに関連する学問、しばしばスポーツに関連するものは athletics です。

16.

解答 ①

【解説】

正解は①「必要な」です。形容詞です。Water is necessary for all living things.（水はすべての生き物にとって必要です）のように使います。②「不要な」は unnecessary で、否定の接頭辞 un-が付いた反対語です。③「十分な」は enough、④「重要な」は important です。

◆補足：It is necessary for A to do ...の形で「A が～することは必要だ」という文でよく使われます。It is necessary for us to protect the environment.（私たちが環境を守ることは必要です）。名詞形は necessity（必要性、必需品）です。

17.

解答 ①

【解説】

正解は①の **behind** で、「～の後ろに（で）」という位置を表す前置詞です。Someone is standing behind you.（誰かがあなたの後ろに立っていますよ）のように使います。他の選択肢は、②**before** は「～の前に（時間・順序）」、③**beside** は「～の隣に」、④**between** は「(2つのものの) 間に」という意味で、それぞれ違う位置関係を表します。

◆補足：behind の反対、つまり「～の前に」という位置を表す表現は in front of ～です。There is a bus stop in front of the station.（駅の前にバス停があります）のように使います。behind と in front of はセットで覚えておくと、位置を説明するのにとても役立ちます。

18.

解答 ③

【解説】

正解は③の **tourist** で、「観光客」を意味します。特に、楽しみのために旅行をしている人を指す言葉です。Kyoto is full of tourists from all over the world.（京都は世界中からの観光客でいっぱいです）のように使います。他の選択肢を見てみましょう。①**guide** は「案内人」、②**stranger** は「見知らぬ人」、④**traveler** は「旅行者」全般を指し、出張などビジネス目的の人も含むより広い言葉です。

◆補足：tourist に関連する言葉として、「観光旅行」を意味する **tour** や、「観光事業」を意味する **tourism** があります。tour という単語が共通しているので、まとめて覚えると効率的です。例えば、I took a tour of the castle.（私はそのお城のツアーに参加した）のように使います。

19.

解答 ④

【解説】

正解は④「巨大な、とても大きい」で、形容詞です。例えば They live in a huge house.（彼らはとても大きな家に住んでいる）のように使います。他の選択肢は、①「とても重い」は **very heavy**、②「とても速い」は **very fast**、③「とても小さい」は **tiny** や **very small** が適切な表現です。

◆補足：huge の類義語には **enormous** や **giant** などがあり、いずれも「巨大な」という意味を表します。very big の代わりにこれらの単語を使えるようになると、表現がより豊かになりますよ。大きさの程度を伝えたい時に使い分けてみましょう。

20.

解答 ①

【解説】

正解は①「international」です。「an international airport」(国際空港)。inter- (間に) と nation (国) から成り立っています。②「national」は国全体に関連する、国内の、③「natural」は自然の、④「traditional」は伝統的な、という意味です。

◆補足：international の反対語は domestic (国内の) です。

21.

解答 ①

【解説】

正解は①「画面、スクリーン、ついたて」です。また、部屋の間仕切りに使う「ついたて」や「びょうぶ」も screen と呼びます。②「舞台」は stage、③「場面」は scene、④「絵画」は painting がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：screen は動詞として使われると、「～をさえぎる、保護する」や「(映画など) を上映する」といった意味になります。Sunscreen (日焼け止め) は、太陽の光 (sun) から肌を screen (保護) するもの、と考えると覚えやすいですね。

22.

解答 ①

【解説】

正解は①「A と B の間に」です。between A and B は、2 つの物や場所、時間の「間」にあることを示す前置詞句です。例えば I sat between my mother and my father. (私は母と父の間に座った) のように使います。②「A と B の両方」は both A and B、③「A と B のどちらか」は either A or B、④「A と B の周りに」は around A and B がそれぞれ適切な表現です。

◆補足：2 つのものの間には between を使いますが、3 つ以上のものに「囲まれている」状態を表す時は among という単語を使うのが一般的です。例えば The little house stands among tall trees. (その小さな家は高い木々の間に立っている) のように使います。between と among の違いを覚えておくとう便利です。

23.

解答 ④

【解説】

正解は④「質問、問い」です。Please raise your hand if you have a question. (質問がある人は手を挙げてください) のように使います。①「答え」は answer で question の対義語、②「問題点」は problem、③「宿題」は homework がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：question は動詞としても使われ、「～に質問する」という意味になります。しかし、より一般的には ask a question という形で「質問をする」と表現することが多いです。この使い方に慣れておく
と便利です。

24.

解答 ②

【解説】

正解は②の stick です。The old man was walking with a stick. (その老人はつえをついて歩いていた) のように使います。他の選択肢を見てみましょう。①stone は「石」、③string は「ひも」、④block は「かたまり、ブロック」という意味です。

◆補足：動詞としての stick は「～を突き刺す」や「～を貼り付ける」という意味で使われます。日本語で言う「シール」のことは英語で sticker と言いますが、これは stick (貼り付く) するもの、という関係から来ています。

25.

解答 ③

【解説】

正解は③「～より多い、～以上」です。more than ～は数や量が基準よりも大きいことを示す比較の表現です。more が「より多くの」という意味なので、more than 10 は「10 より多い」(10 は含まない) となります。例えば It costs more than 1,000 yen. (それは 1000 円以上します) のように使います。①は just や exactly、②は most of ～、④「～より少ない」は less than ～がそれぞれ近い表現です。

◆補足：反対に「～より少ない、～未満」と言いたい時は less than ～を使います。例えば、The test will take less than an hour. (テストは 1 時間未満で終わるでしょう) のように表現できます。more than と less than はセットで覚えておくと、大小を比較するのにとても便利です。

26.

解答 ④

【解説】

正解は④「～することができる」です。「be able to do」という表現は、助動詞 can と同じ意味です。能力について話すために使われます。will のような助動詞の後や不定詞としてなど、文法的に can が使えない状況で be able to が使われます。例文は「私は上手に英語を話せるようになるだろう」という意味です。

◆補足：be 動詞を変えることで、どの時制でも be able to を使うことができます。例：I was able to... (～することができた)、I have been able to... (～することができています)。

27.

解答 ④

【解説】

正解は④「～を（車などに）乗せてあげる」です。「My dad gave me a ride to the station.」（父が私を駅まで車で送ってくれた）。誰かに車をあげるという意味ではありません(①)。

◆補足：「Can you give me a ride home?」（家まで乗せていってくれませんか？）のように、乗せてもらうよう頼むこともできます。イギリス英語では lift が同義語として使われます。

28.

解答 ③

【解説】

正解は③「それぞれ、めいめい」です。Each の後には単数形の名詞が続くのが基本ルールです（例：each child）。Each of the students has a dictionary.（生徒たちはそれぞれ辞書を持っています）のように使います。①「すべて」は all または every、②「いくつか」は some、④「ほとんど」は most が適切な単語です。

◆補足：each other は「お互いに」という意味で非常によく使われる熟語です。My brother and I often help each other.（兄と私はよくお互いに助け合います）のように、二人またはそれ以上の人々が同じことをし合う状況を表します。

29.

解答 ①

【解説】

正解は①「ひも、糸」です。string は、箱を縛ったり、風を揚げたり、ビーズを通したりするのに使う、比較的丈夫な糸やひもを指します。You need a pair of scissors to cut this string.（このひもを切るにははさみが必要です）のように使います。②「針」は needle、③「布」は cloth、④「紙」は paper です。

◆補足：ギターやバイオリンなどの弦楽器に使われる「弦」のことも string と呼びます。そのため、弦楽器だけで編成されるオーケストラは a string orchestra（弦楽オーケストラ）と言われます。

30.

解答 ③

【解説】

正解は③の college です。My sister is a college student. (私の姉は大学生です) のように使います。他の選択肢を見てみましょう。①class は「授業、クラス」、②campus は大学の「構内」、④club は「クラブ活動、部」のことで、いずれも大学に関連はありますが大学そのものではありません。

◆補足：college と似た単語に university があります。厳密には university が複数の学部を持つ総合大学、college が専門分野を教える単科大学などを指すことが多いですが、日常会話では college が広く「大学」の意味で使われることがよくあります。

31.

解答 ④

【解説】

正解は④の hit で、「～を打つ、たたく」という意味の動詞です。他の選択肢を見てみましょう。

①hold は「～を持つ、つかむ」、②hide は「～を隠す」、③kick は「～を（足で）ける」という意味です。体のどの部分を使う動作かを考えると、区別しやすいでしょう。

◆補足：hit は不規則動詞で、現在形・過去形・過去分詞形がすべて同じ hit です。He hit a home run. が「彼はホームランを打つ」なのか「打った」なのかは、文脈で判断します。また、音楽や映画の「大ヒット」もこの hit から来ています。

32.

解答 ②

【解説】

正解は②「メートル」です。①「会う」は動詞の meet、③「肉」は meat、④「問題」は matter です。

◆補足：イギリス英語でのスペルは metre です。1000 メートルは 1kilometer です。

33.

解答 ④

【解説】

正解は④の firework で、「花火」を意味します。fire（火）と work（作品）が組み合わさった単語だと考えると覚えやすいかもしれません。普通、花火はたくさん打ち上げられるので、複数形の fireworks の形で使われることがほとんどです。他の選択肢は、①campfire は「キャンプファイヤー」、②fire alarm は「火災報知器」、③bonfire は「たき火」を指します。

◆補足：「花火を見る」は watch the fireworks と表現します。また、「花火大会」のことは a fireworks display や a fireworks festival のように言います。例えば I'm going to the fireworks festival with my family this summer. (今年の夏、家族と花火大会に行きます) のように使えます。

34.

解答 ③

【解説】

正解は③の **shout** で、「叫ぶ、大声を出す」という意味の動詞です。Don't shout in the library. (図書館で叫んではいけません) のように使います。①speak は「話す」、②sing は「歌う」、④say は「言う」という意味で、声の大きさのニュアンスは含まれません。

◆補足：shout at ～で「～に怒鳴る」、shout to ～で「～に大声で呼びかける」というように、後ろに続く前置詞によって少しニュアンスが変わります。He shouted at me. (彼は私に怒鳴った) と He shouted to me. (彼は私に大声で呼びかけた) の違いをイメージできると良いですね。

35.

解答 ①

【解説】

正解は①「声援を送る、元気づける」です。cheer は、スポーツの試合で「がんばれ！」と応援したり、落ち込んでいる友達を励ましたりするという意味の動詞です。Many people gathered to cheer for the runners. (多くの人々がランナーに声援を送るために集まった) のように使います。②「祈る」は pray、③「泣く」は cry、④「不平を言う」は complain がそれぞれ適切な単語です。

◆補足：cheer から派生した言葉に cheerful (元気な、陽気な) という形容詞や、cheerleader (チアリーダー) などがあります。また、乾杯の時の掛け声として使われる Cheers! は、イギリスなどでは「ありがとう」や「じゃあね」といった軽い挨拶としても使われます。

36.

解答 ②

【解説】

正解は②の **ballet** で、音楽に合わせて踊る西洋の舞台舞踊「バレエ」を指します。日本語とほぼ同じように使うことができます。She has been taking ballet lessons since she was five. (彼女は5歳の時からバレエのレッスンを受けています) のように使います。他の選択肢は、①concert が「コンサート」、③opera が「オペラ、歌劇」、④chorus が「合唱」と、それぞれ異なる舞台芸術のジャンルです。

◆補足：バレエを踊る女性舞踊家は ballerina (バレリーナ)、男性舞踊家は ballet dancer と呼ばれます。The Nutcracker (くるみ割り人形) は、世界で最も有名なバレエ作品の一つです。

37.

解答 ②

【解説】

正解は②の **Russia** で、国名の「ロシア」です。国名などの固有名詞は、文の最初でなくても、常に最初の文字を大文字で書くというルールがあります。他の選択肢は、①**China** が「中国」、③**Canada** が「カナダ」、④**India** が「インド」と、それぞれ違う国名です。有名な国の名前は英語で書けるようにしておくと良いでしょう。

◆補足：国名に関連して、「～人」や「～語」、「～の」といった言い方も大切です。**Russia** の場合は **Russian**（ロシアの、ロシア人、ロシア語）となります。例えば、**She is a famous Russian pianist.**（彼女は有名なロシア人ピアニストです）のように使います。

38.

解答 ①

【解説】

正解は①「謝肉祭、カーニバル」です。**carnival** は、華やかなパレードや仮装、音楽で知られるお祭りのことで、特にキリスト教文化圏で復活祭の前に行われるものを指すことが多いです。日本語の「カーニバル」と同じ感覚で使えます。②「収穫祭」は **harvest festival**、③「学園祭」は **school festival**、④「展覧会」は **exhibition** が適切な単語です。

◆補足：世界で最も有名なカーニバルの一つに、ブラジルのリオデジャネイロで開かれる **the Rio Carnival** があります。**carnival** という言葉は、より一般的に「移動遊園地」や「縁日」を指して使われることもあります。

39.

解答 ①

【解説】

正解は①「**parade**」です。**parade** は、人々が音楽や装飾された車両と共に通りを行進する公開の祝賀行事です。例えば、「**I watched the parade on TV.**」（私はテレビでパレードを見ました）。②

「**paradise**」は楽園、③「**present**」はプレゼント、④「**program**」は番組です。

◆補足：**parade** は **procession**（行列）の一種です。

40.

解答 ③

【解説】

正解は③「(社会や文化の) 習慣、風習」です。①「(個人の) 癖」は **habit**、②「注文」は **order**、④「衣装」は **costume** で、それぞれ意味が異なります。**custom** と **costume** はつづりが似ているので間違えないようにしましょう。

◆補足：customs のように複数形にすると、「税関」という意味になります。海外旅行の際に空港で目にする単語です。また、custom は社会的な習慣、次の単語の habit は個人的な習慣、という使い分けを理解することがとても大切です。

41.

解答 ④

【解説】

正解は④「～を通り抜ける、～を経験する」です。この熟語には、トンネルなどを物理的に「通り抜ける」という意味と、困難な出来事などを「経験する」という比喻的な意味があります。We had to go through a dark forest. (私たちは暗い森を通り抜けなければならなかった) のように使います。①は go around ～、②は go without ～、③は go over ～などが近い表現です。

◆補足：前置詞の through には「～を貫いて」という中心的なイメージがあります。このイメージを持つと、go through がトンネルの「中を通り抜ける」ことや、困難な体験の「中をくぐり抜ける」ことを表すのが理解しやすくなります。

42.

解答 ④

【解説】

正解は④「何百もの～」です。ここでのポイントは hundred が複数形であることです。例えば、「There were hundreds of people at the concert.」(コンサートには何百人もの人々がいた)。①「100の～」は one hundred...となります。

◆補足：このパターンは他の数字でも使えます：thousands of (何千もの)、millions of (何百万もの)。

43.

解答 ④

【解説】

正解は④「～を上演する、演奏する」です。The students will perform a play at the school festival.

(生徒たちは文化祭で劇を上演します) のように使います。①「～を準備する」は prepare、②「～を描く」は draw、③「～を練習する」は practice です。

◆補足：perform の名詞形は performance (パフォーマンス) です。「上演、演奏、演技」といった意味で、こちらも日本語になっていますね。Her performance was amazing. (彼女の演技はすばらしかった) のように使います。動詞と名詞をセットで覚えるのが効率的です。

44.

解答 ①

【解説】

正解は①の **sunlight** で、「日光、太陽の光」を意味します。**sun**（太陽）と **light**（光）が一つになった、とても分かりやすい単語です。**The plants need water and sunlight to grow.**（植物が育つためには水と日光が必要です）のように使います。他の選択肢を見てみましょう。②**moonlight** は「月光」、③**starlight** は「星の光」、④**shadow** は「影」を意味します。

◆**補足**：**light**（光）を使った単語は他にもたくさんあります。例えば **streetlight**（街灯）や **flashlight**（懐中電灯）などがあります。身の回りにある光を探して、英語で何と言うか考えてみるのも楽しい勉強法ですよ。

45.

解答 ②

【解説】

正解は②の **hall** で、コンサートや集会などが開かれる「会館、ホール」を指します。例えば **The concert will be held at the city hall.**（そのコンサートは市の会館で開かれます）のように使います。他の選択肢は、①**stadium** は野球などのための大規模な「競技場」、③**gym** は「体育館」、④**dome** は「ドーム（球場）」を指し、それぞれ特定の用途を持つ建物を表します。

◆**補足**：**hall** という単語は、大きな建物の「ホール」以外に、家の中の「玄関」や「廊下（hallway）」を指すこともあります。例えば、**Please leave your wet umbrella in the hall.**（濡れた傘は玄関に置いておいてください）のように、文脈によって意味が変わるので覚えておきましょう。

46.

解答 ②

【解説】

正解は②の **communication** で、「意思の伝達、コミュニケーション」を意味します。他の選択肢を見てみましょう。①**conversation** は「会話」、③**presentation** は「発表」、④**information** は「情報」を意味し、これらはすべて **communication** の一部と考えることができます。

◆**補足**：**communication** の動詞形は **communicate** で、「意思を伝え合う、連絡を取り合う」という意味です。**It is fun to communicate with people from different countries.**（異なる国の人々とコミュニケーションをとるのは楽しいです）のように使います。

47.

解答 ②

【解説】

正解は②「歩いて、徒歩で」です。My house is not far, so I came on foot. (私の家は遠くないので、歩いて来ました) のように使います。①「急いで」は in a hurry、③「時間通りに」は on time、④「疲れて」は tired が適切な表現です。

◆補足：交通手段を言うときは by bus (バスで) や by train (電車で) のように by を使うのが基本ですが、徒歩の場合だけは特別に on foot を使います。この例外をしっかりと覚えておきましょう。

48.

解答 ④

【解説】

正解は④の habit です。It is a good habit to read a book every day. (毎日読書をするのは良い習慣だ) のように使います。他の選択肢を見てみましょう。①hobby は「趣味」、②rule は「規則」、③custom は社会や文化の「風習」を意味し、個人に根付いた行動である habit とは区別されます。

◆補足：a good habit (良い習慣) と a bad habit (悪い習慣) という組み合わせでよく使われます。「～する癖がある」は have a habit of -ing という形で表現できます。He has a habit of saying “you know”. (彼には「あのね」という癖がある)。

49.

解答 ②

【解説】

正解は②の carefully です。She carefully carried the glasses. (彼女は注意深くグラスを運んだ) のように使います。他の選択肢を見てみましょう。①careless は「不注意な」、③careful は「注意深い」という意味の形容詞です。④slowly は「ゆっくりと」という意味の副詞です。

◆補足：形容詞に-ly を付けると副詞になることがよくあります。careful (注意深い) に-ly が付いて carefully (注意深く) になるのがその典型例です。形容詞は名詞を修飾し、副詞は主に動詞や形容詞を修飾するという働きの違いを理解しておきましょう。

50.

解答 ①

【解説】

正解は①「～と一緒に、～に加えて」です。along with ～は、誰かや何かと「一緒に」ということを表す前置詞句です。with とほぼ同じ意味ですが、along が付くことで一体感が強調されることがあります。He came to the party along with his friends. (彼は友達と一緒にパーティーに来た) のように使います。②は without ～、③は instead of ～、④は in front of ～が適切な表現です。

◆補足：along を使った他の重要な熟語に get along with ～があります。これは「～と仲良くする、うまくやっていく」という意味で、I get along with my classmates. (私はクラスメートと仲が良い) のように使います。
